

どらなびEXPO 2018 秋 ～ バス運転者専門の就職イベント ～

2018年10月13日(土)、新宿エルタワー30階・サンスカイルームにおいて、バス運転者専門の就職イベント『どらなびEXPO 2018 秋』東京会場が開催されました。

『どらなびEXPO』は、採用支援会社のリッツMC(株)が主催する、バス運転者に特化した就職イベントになります。今回も日本バス協会及び東京バス協会の後援を受け、来場者数は420名(前回から57名増)と、過去最大であった前回は大幅に上回る規模となりました。

会場では、全国よりバス会社や地方自治体等が集結し、ブース及びパネルでの会社説明が行われたほか、特設ステージを設置し、運転者志望の方に向けた特別講座「希望のバス会社に受かる方法」や「男性乗務員によるトークセッション」などが行われました。

運転者確保に向けた取り組みを推進している当局も、前回の2018春に引き続き当イベントに参画させていただいております。今回の2018秋についても、一部抜粋してご紹介いたします。



★朝礼の様子★
開場に先立つ朝礼において参加各社にエールを送る、関東運輸局・森高自動車交通部長



前回と比べスペースが拡張された特設ステージ



リッツMC(株)・中嶋社長が代表理事を務める(一社)女性バス運転手協会のブース

どらなびEXPO2018秋～バス運転者専門の就職イベント～



関東運輸局のブース

2018春に引き続き、関東運輸局のブースをご準備いただきました。ブース内では、国土交通省が作成した、バス運転者のキャリアパスや活躍がわかるチラシ及びリーフレットを配布させていただきました。お立ち寄りいただきましたご来場者の皆様、ありがとうございました！

今回のイベントも乗合・貸切等の業態を問わず、全国から71ものバス会社や自治体が参画し、採用関係パンフレットの配布や、各ブースにおける入社説明が行われました。

主催者であるリッツMC(株)においても、就職相談コーナーを設け、就職活動が不安なご来場者の対応が行われました。



就職相談コーナー

★どらなびEXPO2018秋会場風景★



受付開始前



受付開始後



各企業ブース入場解禁後

どらなびEXP02018秋～バス運転者専門の就職イベント～



リッツMC(株)中嶋社長による
特別講義風景

特設ステージでは、例年恒例であるリッツMC(株)代表の中嶋社長による、「希望のバス会社にかかる方法」と題した講演が行われました。講演の中では、バス運転者として採用されるための資格要件や、面接担当者へ好印象を与えるコツ等が伝授されました。本講演は、バス会社への就職にスポットをあてたここでしか聞くことのできない、当イベントの醍醐味と言えます。会場は満席となり、ご来場者の皆様は熱心に聴講されていました。

関東運輸局からの挨拶としまして石嶋旅客第一課長より「国家戦略におけるバス事業の位置づけ」と題して講演が行われました。約10分という短い時間でしたが、日常生活で見かける路線バスから、高速バスや観光バス等様々なタイプのバスが取り上げられました。超高齢化社会を控え、また東京オリンピック・パラリンピックに伴う外客受入体制整備の予断を許さない状況にある昨今における、バス事業の公共交通及び観光立国実現のための重要性が語られました。聴講いただいたご来場者の皆様には感謝申し上げます。ご来場者の皆様が、バス運転者を目指すうえでの、モチベーションアップにつながれば幸いです。



講演する、関東運輸局石嶋旅客第一課長

どらなびEXP02018秋～バス運転者専門の就職イベント～



壇上の男性乗務員の皆さん

講演だけでなく、トークセッションイベントとして「男性乗務員によるトークセッション」が、開催されました。日の丸自動車興業のS乗務員、東京空港交通のT乗務員、西武バスのA乗務員、京王電鉄バスのC乗務員を壇上に迎え、現在の仕事内容、バス運転者を選んだ理由、就職する前と後の違い等について率直な話を伺うことが出来ました。

バス運転者は休みのパターンが決まっており、休暇もとりやすいことから、就職した後では、前職より自分の時間が増えたという声 that 特に印象に残っています。志望者のボリュームゾーンである男性に生の声を伝える、非常に有意義なイベントでした。

男性乗務員とは別に、好評の恒例企画である「女性乗務員によるトークセッション」が今回も開催されました。しずてつジャストラインのK乗務員、立川バスのK乗務員を壇上に迎えて、現在の仕事内容、バス運転者を選んだ理由といった質問に加え、バス営業所の雰囲気や仕事をする上での男女の違い等、女性の志望者が気になる質問がふんだんに盛り込まれました。運転するバスの業態にもよりますが、体力的に凄くきついわけではなく、ハンドルを握れば男女の違いはないという、心強いお言葉もいただきました。運転者不足が問題視されている昨今において、女性運転者はたいへん貴重な存在であり、就職を考えている女性を後押しする貴重な機会になったと思います。



女性乗務員の皆さん

★まとめ★

今回の秋会場では、合計で420名の方が来場し、過去最大であった前回の参加者数を大幅に更新する結果となりました。単純な参加者数だけでなく、新しい内容のイベントも増えており、また特設ステージを拡張する等、回を重ねる毎に規模が大きくなっていることを実感しました。本イベントがより世間に周知されることで、隠れた運転者需要を掘り起こすことが出来ると確信しました。